

# 千曲川流域「川ものがたり」発掘・活用事業

土木・環境しなの技術支援センター

## 構成

- I 千曲川流域にある物語の発掘
- II 「ちくまがわ川ものがたり」の編集と刊行

## 各論

### I 千曲川流域にある物語の発掘活動

#### 1 資料調査とツアーの案内活動

川を巡る地域の言い伝え、伝説、川を災害の歴史などを学ぶ機会が減り、また地域の研究者も少なくなっている。そこで、今まで蓄積されてきた各地の情報を掘り起こし、また自らの調査によって今までにはない情報もくわえて、川ものがたりを作成していく活動とする。

\*事業は 情報の収集 → 分野別整理 → わかりやすい物語にまとめていく。  
資料調査と共に、現地調査も加えて行う。

メンバーの個別の現地調査や資料の収集を行っていくが、同時に流域の各地を訪れるツアーの案内活動を行い、地域の川ものがたりに通じる情報を伝える活動も実践することとした。

2019年度のそのツアーは下記の通り実施している。このような活動をつうじて、地域の魅力とかを自ら考えながら、収集した資料をどう編集するか大きく参考になっている。

2019年度 ツアーの概要(すべて千曲川流域)			
開催月	テーマ	方面	主な見学先
4月18日	千曲川は地震がつくった	北信、飯山	立ヶ花周辺、飯山、北竜湖など
5月16日	信越線はこうして開設された	上越～長野	信越線二本松駅、黒姫駅、戸草トンネルなどの歴史(日本町)
6月13日	信州を貫いた歴史の道はここだ	上田～松本	保福寺峠、東山道遺構など
9月12日	標高日本一のダム探検	東信	南相木ダム湖(奥三川湖)
10月10日	信州を中央部からながめよう	中信	高ボッチ高原から松本・諏訪盆地を臨む
11月14日	信州のシルクは鉄道を伸ばした	北信	村山橋(橋詰のメモリアル公園ほかトラス見る) 臥竜公園など

2 千曲川流域を訪ねて (2019 年度ツアー案内活動)



戸草トンネル (信越線遺構)



Stop-6(飯山) 文化遺産 小菅神社 (飯山市)



ウエトンが見たアルプス (松本市保福寺峠)



立ヶ花狭窄部付近 長野盆地西縁断層をみる



初期中山道 一里塚 (塩尻市)

千曲川を渡る (東山道巨理遺構)



アルプスなどの絶景を望む高ボッチ高原



日本一標高の高いダム 東京電力 相木ダム





## Ⅱ 「ちくまがわ川ものがたり」の編集

### 1 資料収集と編集方針

今回の事業は次により進めた。

\*事業は 情報の収集 → 分野別整理→ 編集会議→わかりやすい物語にまとめていく。

\*想定する物語の分野は、当初つぎのようなテーマを想定した。

例【川をつくった伝説】

【川に関する行事・祭り】

【災害の痕跡】

【各地の橋にまつわる言い伝え】

【近代産業を支えた風穴】

【川がつくる景観】

【川沿いに残る碑や水神】

【用水、利水、ダム】など

### 2 川ものがたり冊子の編集

調査で収集した資料を基に各自で、多くの人に読んでもらう、わかりやすく紹介するという視点でまとめ作業をおこない、3回の編集会議を実施した。

当初、本編とパンフレットの的な要約との2分冊にわけると考えたが、多くの情報をどう伝えるかを検討し、ハンディタイプの大きさと気軽に読める冊子を目指し、発行部数も増やすこととした。その結果は、下記の目次にあるように6章に区分した「川ものがたり」とした。

なお、千曲川を「ちくまがわ」としたのは、冊子の範囲が長野県では「千曲川と犀川」の2つの大河川に分かれていること、千曲川の漢字の歴史を考える意味であえて「ひらがな表記」とした。

本冊子は、協力を頂いた国、県、市町村への配布、県内の図書館への寄贈などを行うこととするが、資料収集過程で協力を頂いた地域団体からの希望もあり、寄贈する予定である。

信州の大河 千曲川・犀川の流域をめぐるガイドブック

かわ

## ちくまがわ川ものがたり



令和2年3月

土木・環境しなの技術支援センター

## 第1章 地形・地質



複雑な地形・地質(長野県デジタル地質図 2015 パンフレットより)

## 第2章 伝承・行事



泉小太郎伝説は各地に伝わる(泉小太郎 松本市弘法山)

冊子はカラーB5版 ページ数は表紙とも136ページ 発行部数は300部、  
配布後余部があれば希望者にも提供します。

## 目次

はじめに—千曲川、犀川のことを知ろう	..... 6
本編	
I 地形・地質	.....11
1 流域の地形と地質 (見てみたい地形と地質)	.....12
II 伝承・行事	.....23
1 流域に伝わる伝承・伝説	.....24
2 流域の行事	.....37
III 災害・治水	.....51
1 災害の歴史	.....52
2 伝えていきたい大災害	.....54
3 治水の歩み	.....62
4 土砂災害に挑む	.....69
IV 水環境・景観	.....73
1 千曲川・犀川の源流地域	.....74
2 流域の景観 (姨捨、三川合流、塩田平)	.....76
3 水の恵み (拾ヶ堰、五郎兵衛用水)	.....83
4 流域の水と取り巻く環境	.....85
V 川をわたる	.....87
1 流域の橋の歴史	.....88
2 特徴ある橋	.....93
VI 流域の営み	.....103
1 ダムと発電	.....104
2 川で運ぶ通船	.....107
3 歴史を刻む風穴 (ふうけつ)	.....108
4 旅をつなぐ一里塚	.....113
参考資料・文献	.....116
索引、編著者一覧	

なお、2019年10月台風19号により千曲川流域は、大災害にも見舞われた。この災害記録も冊子に含めたが、当初目指した物語の内容についての行政等との学習会などの活動は、災害業務との関係で諦めざるを得なかったのは残念である。